

製品名: CD158k ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab08229**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率 IHC 1:50-1:200,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:10000-1:20000

分子量

抗原情報

遺伝子名	KIR3DL2 CD158K NKAT4
別名	Killer cell immunoglobulin-like receptor 3DL2 (CD158 antigen-like family member K;MHC class I NK cell receptor;Natural killer-associated transcript 4;NKAT-4;p70 natural killer cell receptor clone CL-5;p70 NK receptor CL-5;CD antigen CD158k)
遺伝子 ID	3812.0
SwissProt ID	P43630
免疫原	アミノ酸配列範囲 221-270 のヒトタンパク質からの合成ペプチド

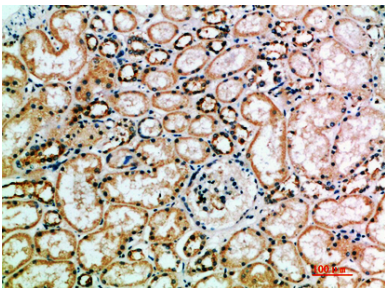
背景

キラー細胞免疫グロブリン様受容体、3つのIgドメインおよび長い細胞質テール2 (KIR3DL2) ホモサピエンス キラー細胞免疫グロブリン様受容体 (KIR) は、ナチュラルキラー細胞およびT細胞のサブセットによって発現される膜貫通型糖タンパク質です。KIR遺伝子は多型性があり、高い相同性を有し、1 Mbの白血球受容体複合体 (LRC) 内の染色体19q13.4上のクラスターとして存在します。KIR遺伝子クラスターの遺伝子内容はハプロタイプによって異なりますが、いくつかの「フレームワーク」遺伝子はすべてのハプロタイプに存在します (KIR3DL3、KIR3DP1、KIR3DL4、KIR3DL2)。KIRタンパク質は、細胞外免疫グロブリンドメインの数 (2Dまたは3D) と、長い (L) 細胞質ドメインと短い (S) 細胞質ドメインの有無によって分類されます。長い細胞質ドメインを持つKIRタンパク質は、免疫チロシン阻害モチーフ (ITIM) を介してリガンド結合時に阻害シグナルを伝達する一方、短い細胞質ドメインを持つKIRタンパク質は、以下の機能を欠いている: ナチュラルキラー (NK) 細胞上のHLA-Aアレルに対する受容体。NK細胞の活性を阻害し、細胞溶解を防ぐ。類似性: 免疫グロブリンスーパーファミリーに属する。類似性: 3つのIg様C2型 (免疫グロブリン様) ドメインを含む。

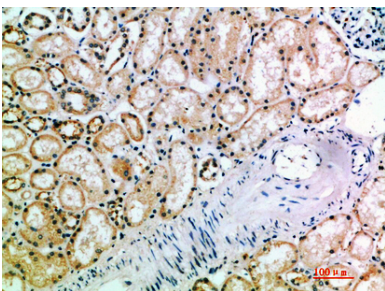
研究分野

抗原処理と提示、ナチュラルキラー細胞を介した細胞傷害、移植片対宿主病、

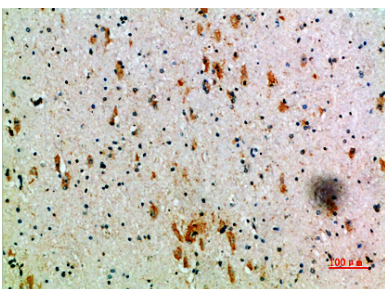
画像データ



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト腎臓の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学分析、抗体は1:200に希釈された